

2009. 7. 17

# 花かご

## 声を上げよう! 相談しよう! ハラスメントのない職場に

学校現場は、長時間労働に加えて、教育の場にあつてはならないセクハラはなかなかなくなり、青年教職員や臨時教職員からのパワハラも増えています。子どもたちの豊かな成長のために、教職員が気持ちよく働くことのできる職場づくりが求められているところです。全教女性部では、08年度、「セクハラ・パワハラ調査」を行いました。結果がまとまりましたので、全国的な状況と埼玉の実態を報告します。

### 全国的な状況

- セクハラの高割合は・・・  
佐賀県(38.2%)・青森県・岡山県  
兵庫県・香川県・福島県・大阪府
- パワハラの高割合は・・・  
東京都(50.5%)・埼玉県・兵庫県  
京都府・北海道・大阪府・岡山県

調査数が極端に少ない県は抜いて割合の高い順に並べました。埼玉が他県に比べセクハラの高割合が少ないのは、長年の運動で要項も整備され、ある程度周知されている結果でしょう。

パワハラが都市部に多いのは、管理教育が強まっていると言うことでしょうか。埼玉の全国2位は自慢できることではありません。臨採者や青年教職員が多いことも影響しているかも知れません。早急な対応が求められます。



### \*\*\* 埼玉 (小中学校) の結果 \*\*\*

#### ●セクハラについて

- セクハラを受けた・・・7.7%
- セクハラを見聞きした・・・11.7%
- セクハラ相談を受けた・・・3.1%



意外に多い同僚からのセクハラ  
セクハラは相談しにくい

#### 誰からセクハラを受けましたか?

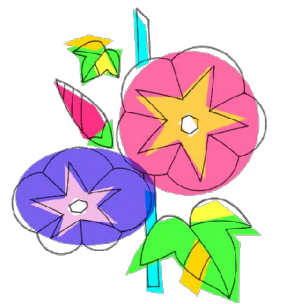
- 校長18人 教頭10人
- 主幹1人 同僚22人
- その他(父母・元教頭など)4人

#### 誰に相談しましたか?

- 同僚15人 友人7人
- 組合3人 家族3人
- 相談していない15人

#### [具体的な記述]

- ◇飲み会の度にセクハラをする先生がいる。卑猥なことを言ってきたりするので困っている。若い女性の方達はとりあえず我慢している。
- ◇若い既婚の女性に「子どもはまだか」「作り方知らないだろう」などと言っているのを聞いた。
- ◇臨採の女性教員から、教頭に帰りの電車の中で「お酒を飲みに行こう」と誘われて困ったという相談を受けた。
- ◇納め会で「お酌をしないのは気が利かない」と言われた。
- ◇「僕とウナギを食べに行きませんか」など、既婚の職員がしつこく誘う。
- ◇職員のレクリエーションや、酒席で立ち上がった時や、ゲームの最中に身体に触られた。
- ◇採用試験の逆上がりの練習の話題になり、「その醜い脚を上げれば回れるはず」と校長に言われた。
- ◇「お茶はキミが持ってきて」と、若い教員に頼んでいた。
- ◇若い女性教員に校長が「かわいいから食べちゃいたいな」とか「いつ子どもを生むんだ」とか言っていた。
- ◇独身女性に対して「だから結婚できない」などと笑ってからかっている。
- ◇女性の職員に「僕と不倫しましょう」と話しかけるのを聞いた。職員室は午後6時をすぎると若い先生ばかりになってたしなめる人もいなかったし、自分もこわくていえなかった。
- ◇研修協議で〇〇さんは若い人が好きだから若い人は前に座ってと(教頭が)言っていた。



#### ●パワハラについて

- パワハラを受けた・・・15.6%
- パワハラを見聞きした・・・21.5%
- パワハラ相談を受けた・・・5.3%



やっぱりパワハラが多い!  
頼りになるのは同僚  
そして組合!

#### 誰からパワハラを受けましたか?

- 校長62人 教頭28人
- 主幹4人 同僚12人
- 職場ぐるみ1人
- その他(父母・センター所長など)3人

#### 誰に相談しましたか?

- 校長5人 教頭2人
- 同僚42人 友人19人
- 組合23人 家族17人
- 相談機関1人
- 相談していない10人

## 〔具体的な記述〕

- ◇職員会議で校長の考えとは違うことを提案すると「げんこつ」をされる。
- ◇先生を「アレはどうしようもない」と、言い捨てる。
- ◇体育館に全校児童がいる時(活動中)、子どもを静かにするように子どもの前で教員を怒鳴りつける行為。
- ◇臨採の時に体調不良で年休を取っていたが、校長に電話連絡を入れ年休がなくなったがどうしたらよいかと尋ねたが病休とは言わず、「欠勤だよ」と冷たく言われた。翌日、教頭先生が病休の届けを置いてくれた。
- ◇新任者の校内指導教官が新任者に対し「バカ」「何度も言っているじゃないか」「こんなことで指導ができるか」「そんな指導案でできない、今日の研究授業は中止だ」などと暴言をばく。また、夜の10時頃まで指導と言って残している。また拠点校教員である私に「言われたことだけやってください」と強い口調で圧力的であった。
- ◇担当者を校長室に呼びつけて仕事を強要。断ったら泣かされた(職員室で泣いていたということ)。
- ◇「仕事が終わったので年休をください」の一言が気に入らなかつたらしく、12月25日から産休に入る人に「あなたは仕事が終わったと言いましたね。指導要録も書きましたか？これから見せてもらおうと夜遅くなってしまうので明日提出してください」と言われ、あわてて40人分の指導要録の下書きを寝ないで書いた。
- ◇呼びかける時に「あなたは」と言われて親しい間柄ならいいが、職場ではきちんと名前を呼んで欲しい。最近では「あんたは・・・」と言っているようです。名前を忘れた時などは特にそう呼ぶようです。
- ◇臨採の先生に自分が所属するサークルの研究会や指導方法の押しつけと、それに基づく研究授業の強要。
- ◇臨採の友人が妊娠。「自己退職」を強調され、任期を全うせず退職させられた。(臨採にも産育休はありますよね?)
- ◇特別支援の先生がパワハラ的な言動を受けていた。組合の先生方も声をかけ心配していたが、二人の関係は想像以上に深刻で中途退職という結末になってしまった。
- ◇特定の人に対してだけ厳しくしていた。仕事の大変さを考慮せず「まだ終わっていないの?」「給料をもらっているんだからやってくれないと困る!」などとひどい言い方をしている。
- ◇担当が教室で生徒指導をしているところに、校長が突然教室に入り、それまでの担任の話を無視するような指導を子どもに行った。
- ◇校長に「ジーパンはくな」といわれた未組合員がいた。分会で交渉し、事実上、撤回させた。



## ●セクハラ・パワハラについての意見

- ◇どこまで許される冗談なのか。忙しい中、粗雑に生きており気づかずに過ごしていることが自分にもあります。パンフなどがあると読みたいです。
- ◇生理休暇など、黒板に書いてあると恥ずかしいので、他の休暇と一緒にならないものか、考えてほしいです。
- ◇泣き寝入りしてしまったり、一時の怒りを押し殺している人も多いと思います。そのままでは何も解決しないので相談窓口を置いたり、研修が必要です。
- ◇公務員はある程度守られているが、一般企業の非正規の立場はパワハラが当たり前になっていると思います。労働基準法から見た働き方の矛盾を研修していきたいです。



あつてはならないセクハラ・パワハラがこんなにあることを各教委との交渉で話題にしましょう。職場では、組合員がアンテナを高くして、被害者を守りましょう。

ハラスメントは、本人に自覚がない場合が多いと言われています。学習、周知に努めるとともに、その場で声を上げていくことも必要でしょう。

県教委に対してハラスメントの指針を作らせるなどの要請を求めるとりくみも大切です。

## 育児介護休業法が成立

6月24日参議院本会議で、育児介護休業法改正法案が可決成立しました。働く女性の7割が妊娠・出産を契機に離職すること、男性の育児休暇取得が進まないことなどを改善する目的を持って改正されたものです。法案には、両親ともに育児休業をとる場合の休業期間の延長、子の看護休暇を子どもが2人以上の場合は10日とすること、3歳に満たない子を養育する労働者の短時間勤務・時間外労働の免除の義務化、短期の介護休暇の新設などが盛り込まれました。

昨年末から、「非正規切り」が社会問題化する中で、不況を口実に解雇する「育休切り」が横行し社会問題化しています。法案の審議では、こうした労働者の実態が与野党を問わず問題視されていました。野党からは、1人親家庭の子の看護休暇の加算、短時間勤務や所定外労働免除などの措置を就学前までに、男性の休業取得促進のため所得保障6割などの修正案が提出されました。

この法律の改正で、私たち埼玉の地公労女性部が要望してきた子育て休暇の2人目からの加算や、家族看護休暇の日数増の実現に、大きな影響があるでしょう。

秋の確定交渉で大きく声を上げていきましょう。



## 埼玉県議会の質問で・・・

### 「With Youさいたま」は必要ない!?

### 男女混合名簿が

### 性同一性障害・草食系男子を生む・・・?

さいたま市選出の田村琢実議員(自民党)は、6月の定例県議会で「男女混合名簿はジェンダーフリー運動の一環。その影響から学者の間で後天的性同一性障害を生むことが指摘されている。私自身行事に参加して、違和感を覚える。草食系男子たる言葉が流行しているが、この混合名簿が影響を及ぼしている」旨の発言をし、教育長の見解を求めました。

また、事業は他の施設でも可能、関係ない講座がある、図書資料にフェミニズムを推奨するものがあるなどを理由として、埼玉県男女共同参画推進センター・通称「With Youさいたま」の廃止を県知事に求めました。これは、大阪の橋下知事による女性センター廃止の動きなど、各地のジェンダーバッシングの動きと通じるものがあります。すぐに廃止となるものではありませんが、注意して見ていく必要があります。

こんなこと本気で言ってるの・・・!

